

私学共済の年金積立金運用の見直しについて

平成26年4月8日

日本私立学校振興・共済事業団

運用の見直しに関する対応状況

<現在取り組んでいる事項>

- 現在の基本ポートフォリオの枠内での運用の見直し
⇒許容かい離幅を利用し、株式や外国債券の比率を高めた運用を実施。
- パッシブ運用における新たなベンチマークの検討
⇒現在、TOPIXではなく、ラッセルノムラ・プライムを利用。
(更に、新たな指標の活用についても検討を進める。)
- 新たな運用対象の追加
⇒「報告書」において例示された投資対象のうち、市場が成長してきて、過去の実績等も把握できる環境となってきたもの(例えばREIT等)を中心に、コンサルティング会社からの情報提供を受ける等、所要の検討を進めている。

<今後取り組む事項>

- 新たな基本ポートフォリオの決定
⇒本年行われる財政再計算等を踏まえた基本ポートフォリオの構築について検討。

リスク管理の見直し等に関する対応状況

<現在取り組んでいる事項>

- 物価や金利の上昇に備えたリスク管理策の検討・実施
⇒物価連動国債への投資に関し、コンサルティング会社からの情報提供を受ける等、所要の検討を進めている。

<今後取り組む事項>

- フォワード・ルッキングなリスク分析の検討
⇒社会保障審議会年金部会の年金財政における経済前提と積立金運用のあり方に関する専門委員会の報告等を踏まえた検討。
- その他
⇒リスク分析を行っていくための体制強化、資金運用等に関する専門性の高い人材の確保について、今後、資産運用体制の整備(組織改正や人員増を検討)を図る中で検討。
⇒日本版スチュワードシップコードについて、受入れを表明する方向で検討。

(参考資料)

日本私立学校振興・共済事業団の積立金運用

総資産額 (平成24年度末)	3.6兆円
-------------------	-------

		資産配分	許容かい離幅
基本 ポ ー ト フ ォ リ オ	国内債券	65%	±9%
	国内株式	10%	±3%
	外国債券	10%	±3%
	外国株式	10%	±3%
	短期資産	5%	—